ロジスティクス研究会
ファックス通信
題　字
第三代東ト協会長
浅 井 時 郎 氏
ロジ研ホームページ
http://www.ttal.jp

ひびき

２０２３年１２月１８日発行１２月号　Ｎｏ．３３１

（一社）東京都トラック協会
ロジ研発行
編　集　人　　中　村　克　敏
東京都新宿区四谷３丁目１番８号
ＴＥＬ．０３－３３５９－４１３７
ＦＡＸ．０３－３３５９－６０２０

ロジ研 年間統一テーマ　～ 和衷共済 ～

※※

◇『ロジ研忘年会』

副本部長・企画副委員長　稲垣　貴志
〔練馬支部　稲垣運輸㈱〕

12月5日（月）太平洋クラブ銀座にて、忘年会が開催されました。皆様のお力添えにより、なかなか貸切れない場所を、43名という、定員をオーバーする多人数で盛大に執り行うことが出来ました。ありがとうございました。

皆様、2024年問題をはじめ、燃料高騰や人手不足、様々な問題を議論されていたかはわかりませんが、流石！ロジ研！！と、いう位、大いに飲み、食べ、しゃべり、笑い、これからの年末強行軍や来るべき新年に向けての、ザ・忘年会にはなったかと存じます。

後半にはオペラ歌手がソロにて場を盛り上げ、彼女のイタリアへの留学費の補助を、あっという間に皆様で総額8万円もご寄付されるお姿にも大変感服致しました。改めて我らがロジ研を大変誇らしく感じ入りました。

このような先輩・仲間がいる限り、業界を取り巻く様々な問題は皆で乗り越えていく事が出来ることを確信致しました。

宴の中締め後は、クリスマスイルミネーションの中、経済を末端からまわすべく、皆様、各自のなじみの席料がかなり高いお店へ、12月早々から散財ツアーに意気揚々と出発されましたことを最後にご報告致します。

編集後記

ロジスティクス研究会の機関紙「ひびき」をご愛読頂きましてありがとうございます。2023年も残りわずかとなってまいりました。皆様におかれましては、どの様な一年であったでしょうか？

さて、国内の動向に目を向けますと、1月はお正月の風物詩箱根駅伝で駒沢大学が2年ぶりの総合優勝を果たしました。なぜだか、これを見ないとお正月気分になれないのは私だけでしょうか。ちなみに、私の母校は中央大学です。シード権を獲得したので、まずは一安心というところでしょうか。

子供対策として、児童手当の拡充などを盛り込んだ「こども未来戦略方針」が決定されましたね。学費が免除される方向になるなど、ようやく教育に力を注ぐようになりつつありますね。

闇バイト強盗が全国各地で相次ぎました。罪のない人がいとも簡単に傷つけられていく様を垣間見て、日本における安全神話はどこにいってしまったのかと思いました。

そして、日本中を明るくした話題と言えば「ＷＢＣ」での日本の14年ぶりの優勝でしたね。栗山監督の指導力は、我々経営者も見習うところが多くありました。大谷選手をはじめ、球界を代表する選手たちを束ねての優勝は、喜びに満ちかえりました。多くのにわか野球ファンも喜色満面になり、狂喜乱舞状態でした。

5月には、「新型コロナウィルス」が「5類」に移行されました。経済活動が止まった約3年4ヵ月の間、世の中の生活はすっかり様変わりしました。インバウンドが消えたことで、観光地は閑散としていましたが、ある意味、本来の日本の美しさを感じとれるような場面にも遭遇出来ました。日本は、経済大国であると思っていますが、実を言うと、観光で成り立っている部分が多くあると新たな認識をしました。ワクチン接種は今も続いています。私も6回の接種を終えました。コロナウィルスに限らず、自分の命は自分で守らなきゃなりませんね。

そして、夏の猛暑。耐えられないほどの暑さでした。日本には自然が織りなす四季がありますが、すでに亜熱帯地帯になりつつあるのでしょうか？冬と夏の二つの季節しかないような気になりました。我々が考える以上に速い速度で、地球温暖化は進んでいるのですね。本当の意味で、温暖化対策をしっかりしないと、我々の住む環境がなくなる時期が、早い速度で訪れてしまうのではないでしょうか？

10月には消費税の「インボイス制度」が開始されました。現状でも、不透明な部分の多い制度ですね。我々に関係した部分では、高速道路の利用料金の処理です。もともと、利用料金には10%の消費税が含まれているのでしょうか？取引先において、様々な解釈があります。弊社は利用料金も外税にして、お客様にご請求をし始めましたが、果たして、道路公団は、徴収した利用料金から消費税を納めているのでしょうか？インボイス制度によって、色々な不思議が浮上してきたような気がします。

自然界では、各地で熊被害が勃発しました。死傷者数が過去最多になりました。「ある日森の中　熊さんに出会った♪」って歌がありますが、そんな悠長な事ではありませんね。本来は大人しく、木の芽などを主食としている熊たちが、たまたま街中に餌を求めて降りてきて、人間に出会ってしまい、びっくりして襲ってしまう事は人間にとっても悲劇であり、それが原因で駆除されてしまうことも悲しい事ですね。共存共栄が本来あるべき姿だと思います。人間にとっても動物たちにとっても、よりよい環境が整うことが大切ですね。

そして何よりも、我々の業界にとって痛手であったのが、燃料費の高騰ですね。私の幼少時代は、軽油は¥65/Lだったような気がします。走らなければ仕事にならず、走れば燃料費がかさむ。運賃の値上げも、以前よりはスムーズに行われているようですが、燃料の高騰分の値上げは難しいのが実情ではないでしょうか？「トリガー条項」を発動して頂きたいと強く思います。それに伴い物価高も続いています。最近テレビで食料品の値上げを通達している食品メーカーを良く見ます。あれを見ていると、消費者に報道で値上げをしますよと言えば済んでしまっているように見えてしまいます。しかし、我々の運賃値上げ交渉は、一つ返事で行われることではありません。我々が末端を支えている業種である事を大きな声で訴えたいですね。

世界に目を向けてみると、ロシアによるウクライナ侵攻も1年以上が経過しました。10月には、ハマスとイスラエルの大規模攻撃が勃発しました。どちらも、罪のない多くの人が巻き添えになり、多くの尊い命が失われています。戦争に何の得策があるのでしょうか。平和な世界が訪れ、平穏に過ごせる世界を作り続けなければなりませんね。

さて、来年ロジ研は改選期になります。正副メンバーは、がらりと変わります。もちろん、広報委員長の私も引退です(笑)。若いメンバーには、引き続きロジ研発展の為にご尽力を頂きたいと思っています。ロジ研には、「温故創新」など故人の足跡を知り、今の時代に生かすという素晴らしい企画があります。素晴らしい事を継続して、東ト協の中心的存在として君臨してもらいたいと思います。2023年も「ひびき」をご愛読頂きまして、誠にありがとうございました。つたない編集人で、なかなか継続発行が出来ませんでしたことをお詫び申し上げます。来年も残り少ない任期を全うしたいと思います。皆様におかれましては、楽しいクリスマス、そして素晴らしい新年を迎えられることを切にご祈念申し上げます。

2023年ありがとうございました。　　＜編集人　中村克敏＞